

株式会社 TOSYS、株式会社ヤマウラと業務提携契約を締結

「次世代型データセンター・地方分散 NAGANO モデル」を開始

計画から設計・建設・設備・ICT・運用までワンストップで“最適解”提供



株式会社 TOSYS（本社：長野県長野市、代表取締役社長：笠井澄人、以下「TOSYS」）はこのたび、総合建設業・製造業の株式会社ヤマウラ（本社：長野県駒ヶ根市、代表取締役社長：山浦正貴、以下「ヤマウラ」）と、データセンター（建屋型 DC）、コンテナ型データセンター（コンテナ型 DC）、マイクロデータセンター（マイクロ型 DC）を共同で提供（※）する新たな事業『次世代型データセンター・地方分散 NAGANO モデル』（以下、「NAGANO モデル」）について業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。



業務提携契約を結ぶ TOSYS の笠井社長とヤマウラの山浦社長
(3月4日、長野市にて)

1. 提携の背景

近年、データセンター領域においては、AI・GPU 需要の爆発的な増加、電力と冷却の逼迫、首都圏一極集中に伴う BCP/DR（事業継続／災害復旧）対策、脱炭素や地域共生課題などを背景に、地方への分散設置型データセンターのニーズが急速に拡大しています。

そこで今回、工場や事務所などの豊富な建設実績と各種インフラ設備、制御監視システムなどのエンジニアリング技術を有するヤマウラと、通信インフラの構築・保守や ICT クラウドサービスなどで甲信越エリアトップクラスの実績を持ち、水冷／液浸冷却や高効率運用を前提としたコンテナ型 DC を開発した TOSYS が、お互いの強みを活かして業務提携を結びました。お客さまの大切なデータを守り、あらゆるニーズに対応できる『NAGANO モデル』として開始します。

2. 提携内容

TOSYS とヤマウラは「建設会社×ICT 事業者」の本格連携により、データセンターの企画・設計・建設・設備・ICT・運用の全工程をワンストップで提供します。建屋型からコンテナ型、マイクロ型まで、用途・規模・設置場所に応じて、短期間での構築を想定しながら、地方におけるデータセンターの“最適解”を共同提案していきます。

両社の主な役割分担としては、ヤマウラが DC の建設・土木・設備の計画・施工、建設関連許認可取得支援、調達・施工管理、建屋または敷地の確保、マイクロ型 DC の提供、電力・空調・セキュリティー・監視等のエンジニアリングおよび施工を中心に担当。TOSYS は ICT インフラ・ネットワークの設計・構築・運用、ならびにコンテナ型 DC の設計・構築・販売・導入支援・構築・運用・監視・保守などを中心に担います。双方がお互いの商品ブランドも展開し、案件ごとに最適で柔軟な座組みを構築することで、お客さまの要件に合わせて個別提案を行います。

3. 業務提携の相手先の概要

【株式会社ヤマウラ】

創業 1920 (大正 9) 年

資本金 28 億 8,849 万円

代表者 代表取締役社長 山浦正貴

上場市場 東京証券取引所プライム市場/名古屋証券取引所プレミアム市場

事業内容 総合建設業・製造業として、建設事業 (建築・土木)・エンジニアリング事業・開発事業を展開

URL <https://yamaura.co.jp/>

(※)「共同提供」=ヤマウラまたは TOSYS の名義による販売、OEM による外部顧客向け提供、リース/マネージドサービス形態を含む。

(参考)【コンテナ型データセンター関連ニュースリリース】

・ [2026.02.05「水冷・液浸を備えた次世代コンテナ型データセンター 2026 年 2 月 5 日よりサービス開始」 | 株式会社 TOSYS](#)

・ [2025.07.01 地域への分散設置を担う次世代型コンテナデータセンターを開設します | 株式会社 TOSYS](#)

《本件のお問い合わせ先》

株式会社 TOSYS

データセンタービジネスデザイン部

Mail : dc-biz@tosys.co.jp